

---

# 新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

---

対象期間 8月1日～8月7日

8月9日 健康医療福祉部感染症対策課

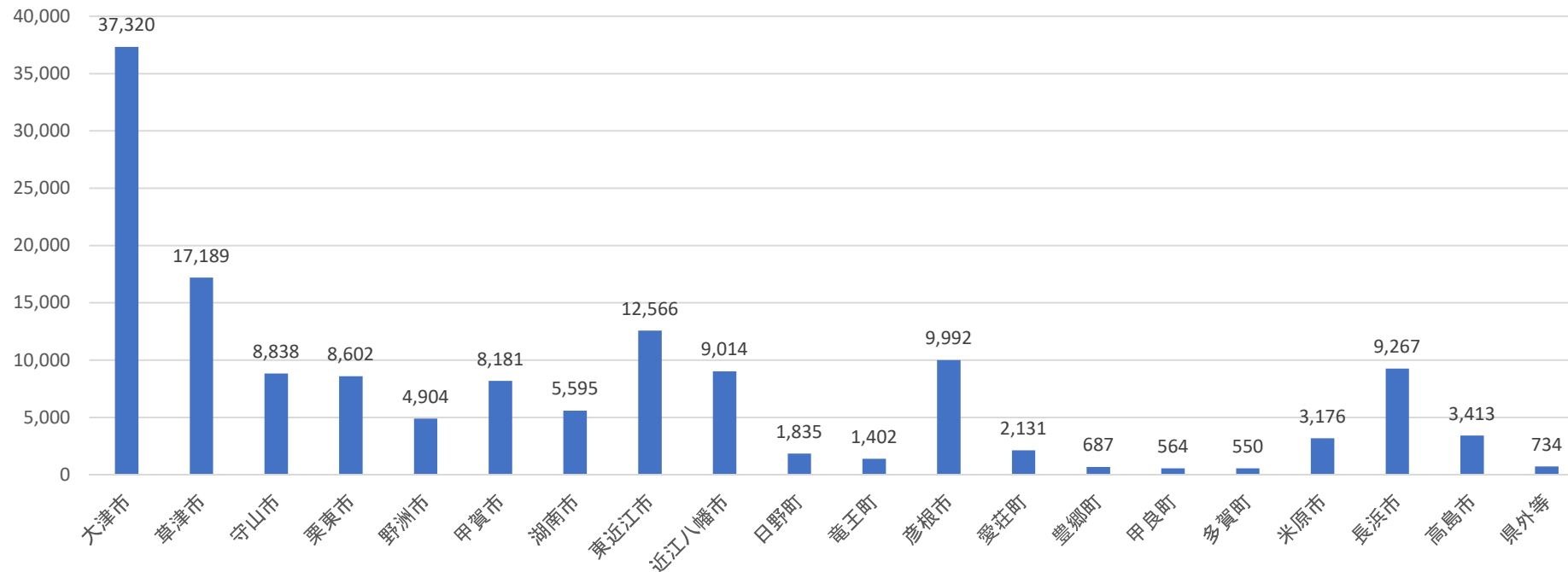


# 1、県内の感染状況について

## 1) 県内の陽性者発生状況

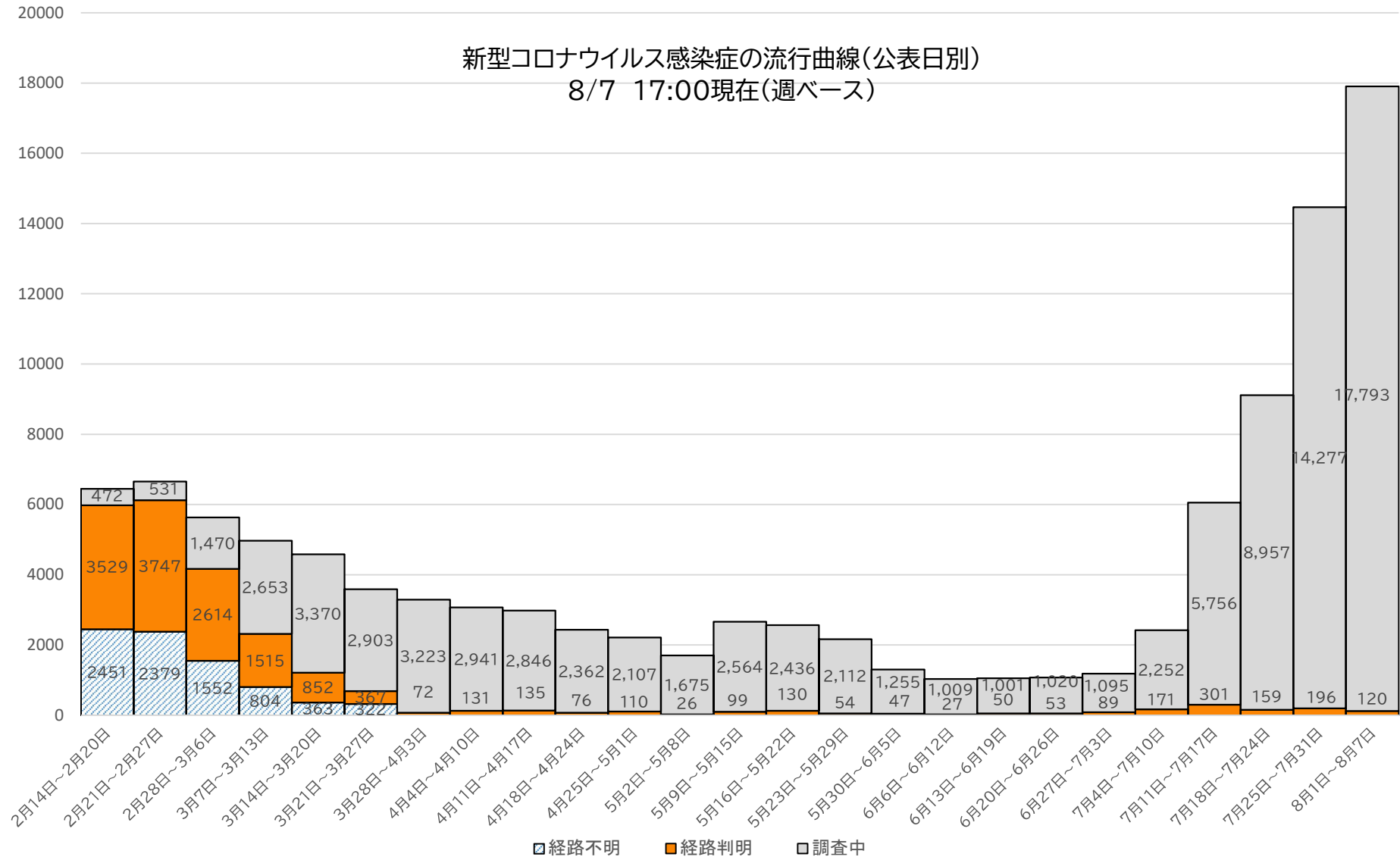
	新規感染者数
今週の報告数(8/1~8/7)	17,913人
累計(8/7時点)	145,960人

## 2) 市町別の累計陽性者発生状況



### 3) 県内の感染動向

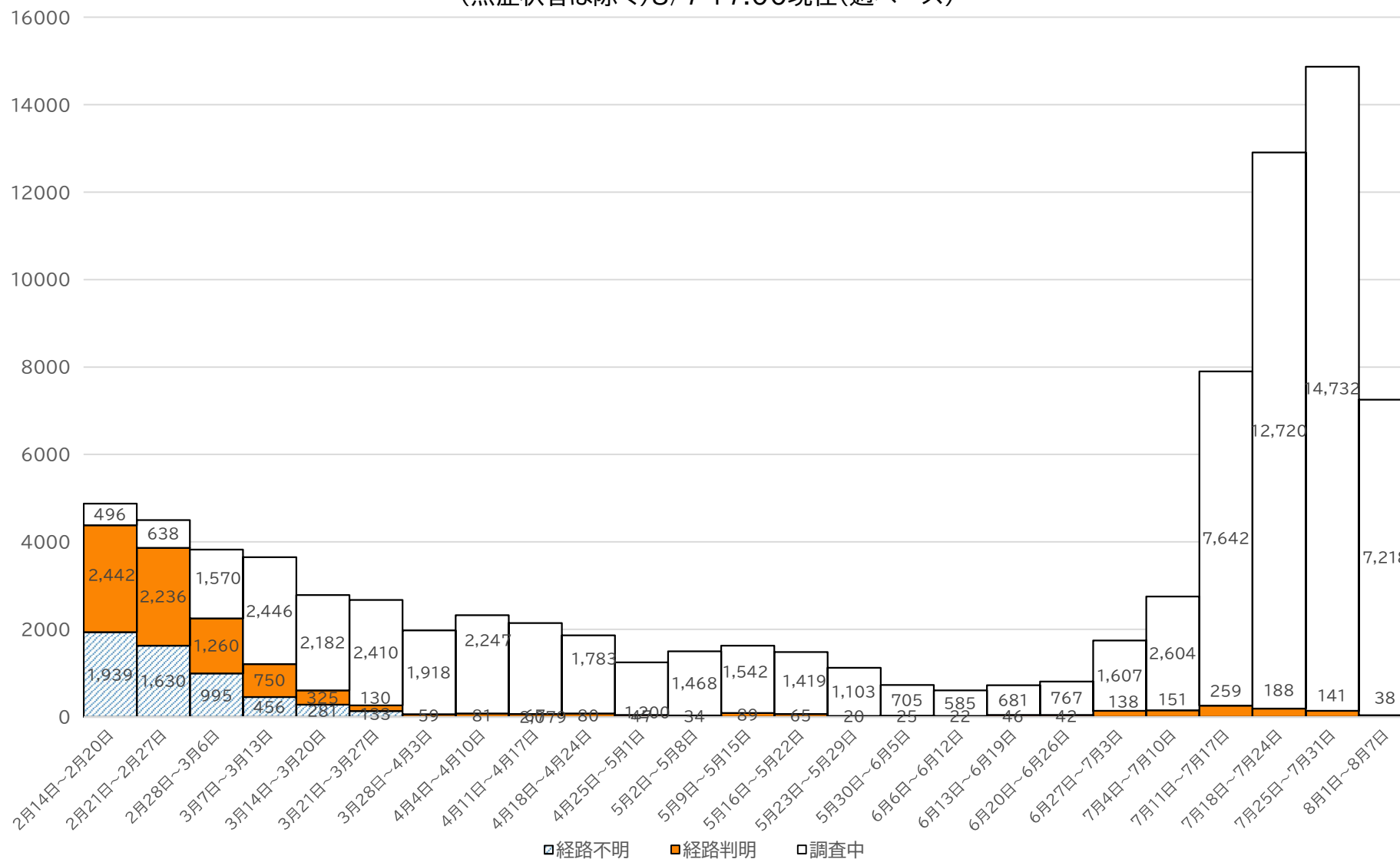
#### ① 流行曲線(公表日別)(8月7日現在)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

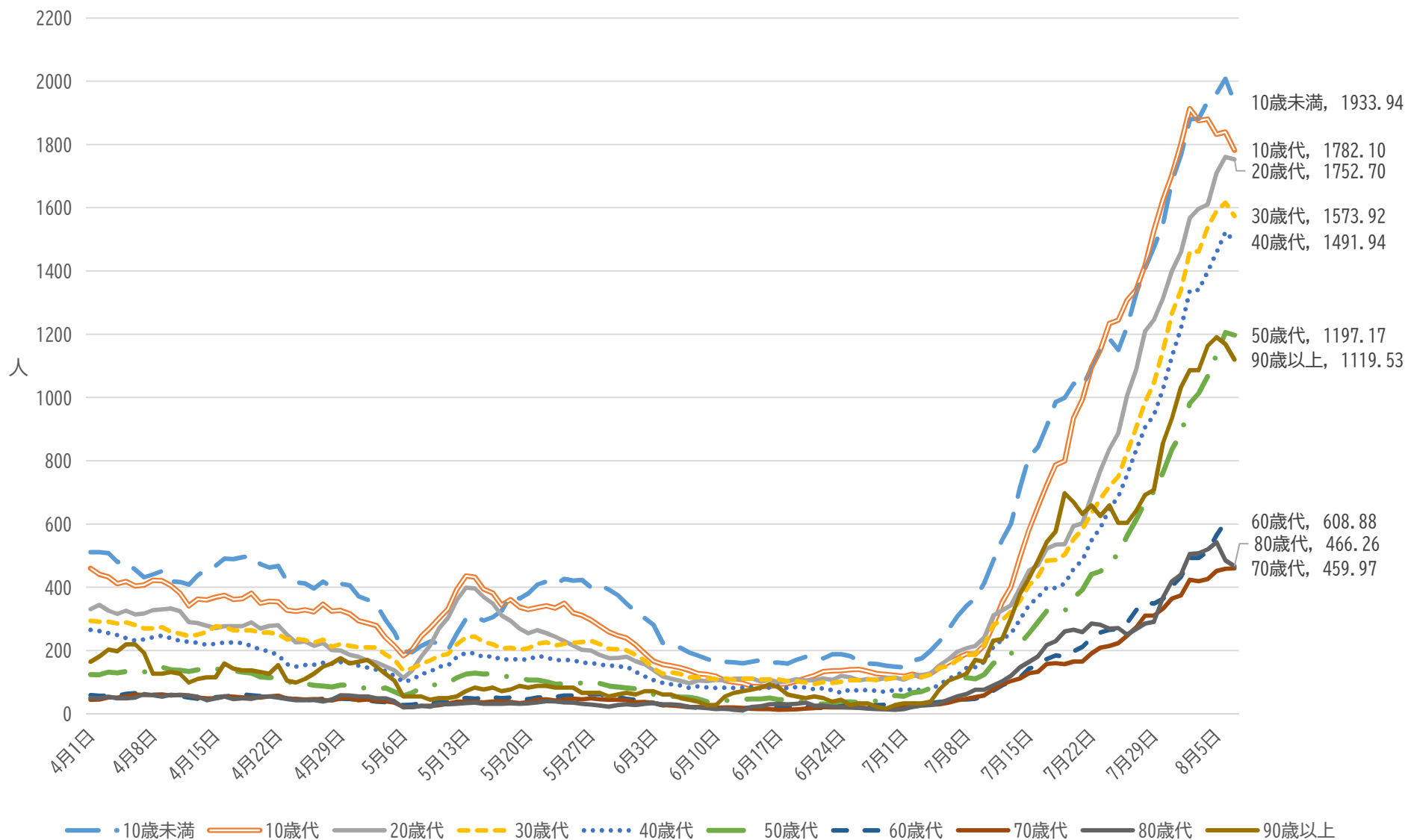
## ②流行曲線(発症日別)(8月7日現在)

新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)  
(無症状者は除く)8/7 17:00現在(週ベース)

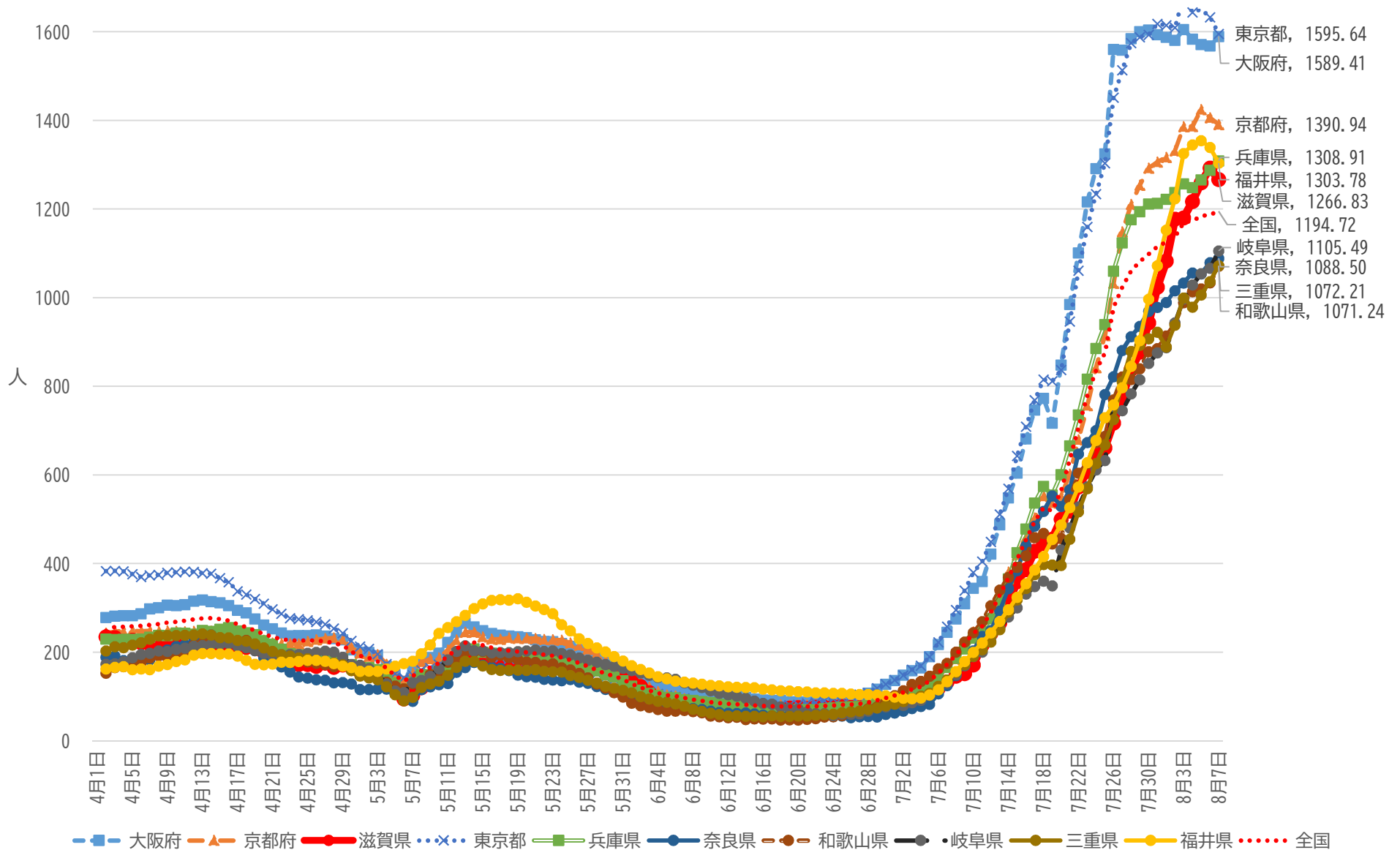


注)無症状者を計上していません。今後7/31以前に発症した患者が届出されることがあります。

# 4) 年代別 10万人あたりの新規感染者数推移 (公表日 直近7日間の累計患者数) (R4.4/1 - 8/7)



## 5) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移 (直近7日間の累計患者数) (R4.4/1 - 8/7)



## 2、県内の感染状況と体制について(8/7現在)

### 1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数					県内 宿泊療養 部屋数					
		入院者数	空床数		療養者数		清掃・修 理待ち	空数			
			県内発生	その他					県内発生	その他	
総数	506	384	361	23	122	630	177	177	0	63	390

### 2) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数							入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			入院中				入院予定等	宿泊 療養				
				重症	中等症	軽症						
PCR検査数	484,881											
(うち行政検査分	211,447)	145,960	25,749	361	2	80	279	25,211	177	119,974	237	
(うちその他検査分	273,434)	(PCR検査判明分	84,659)					(うち自宅待機	251)			
抗原検査数	300,640	(抗原検査判明分	61,301)					(うち自宅療養	24960)			

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

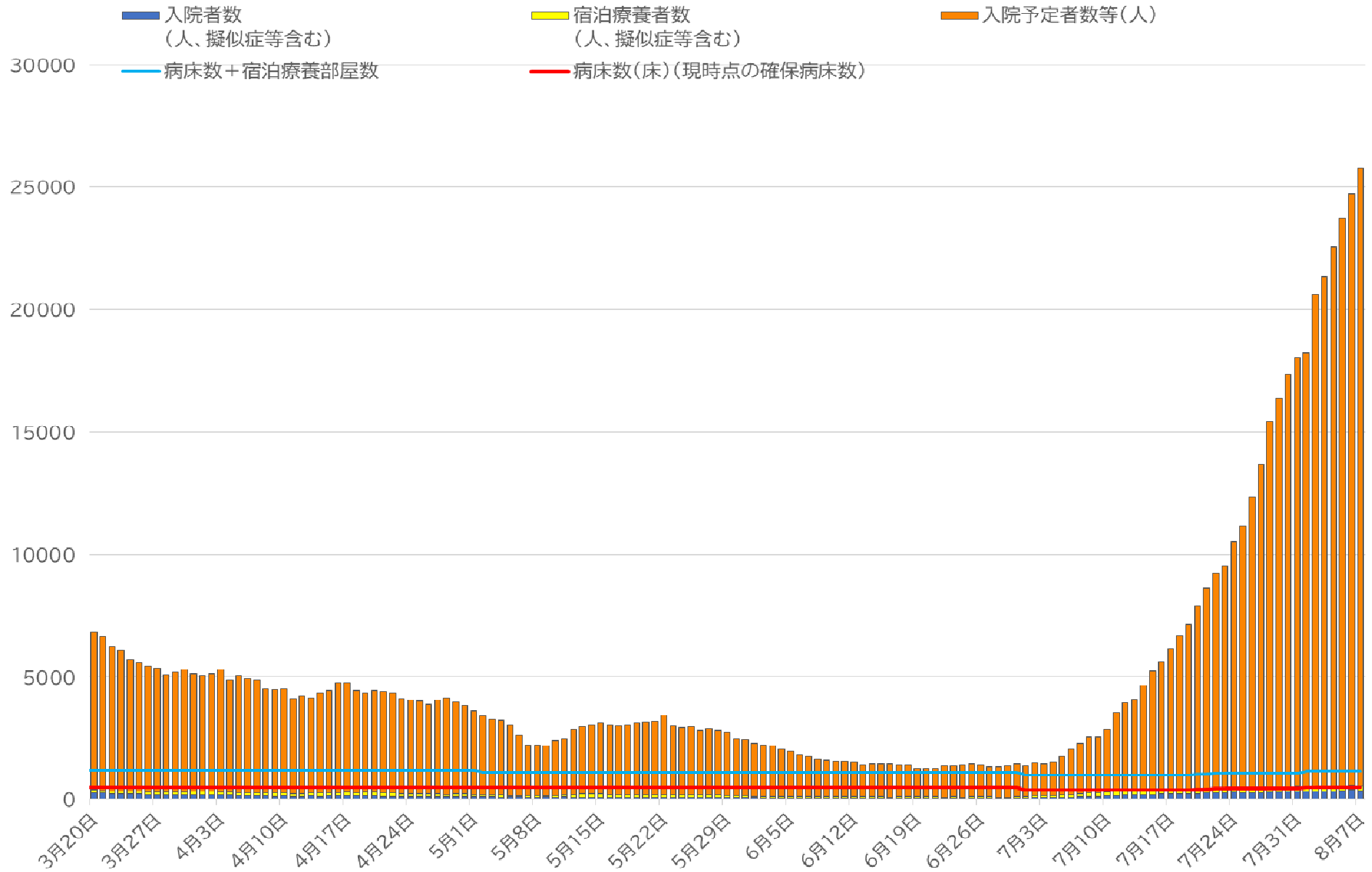
軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

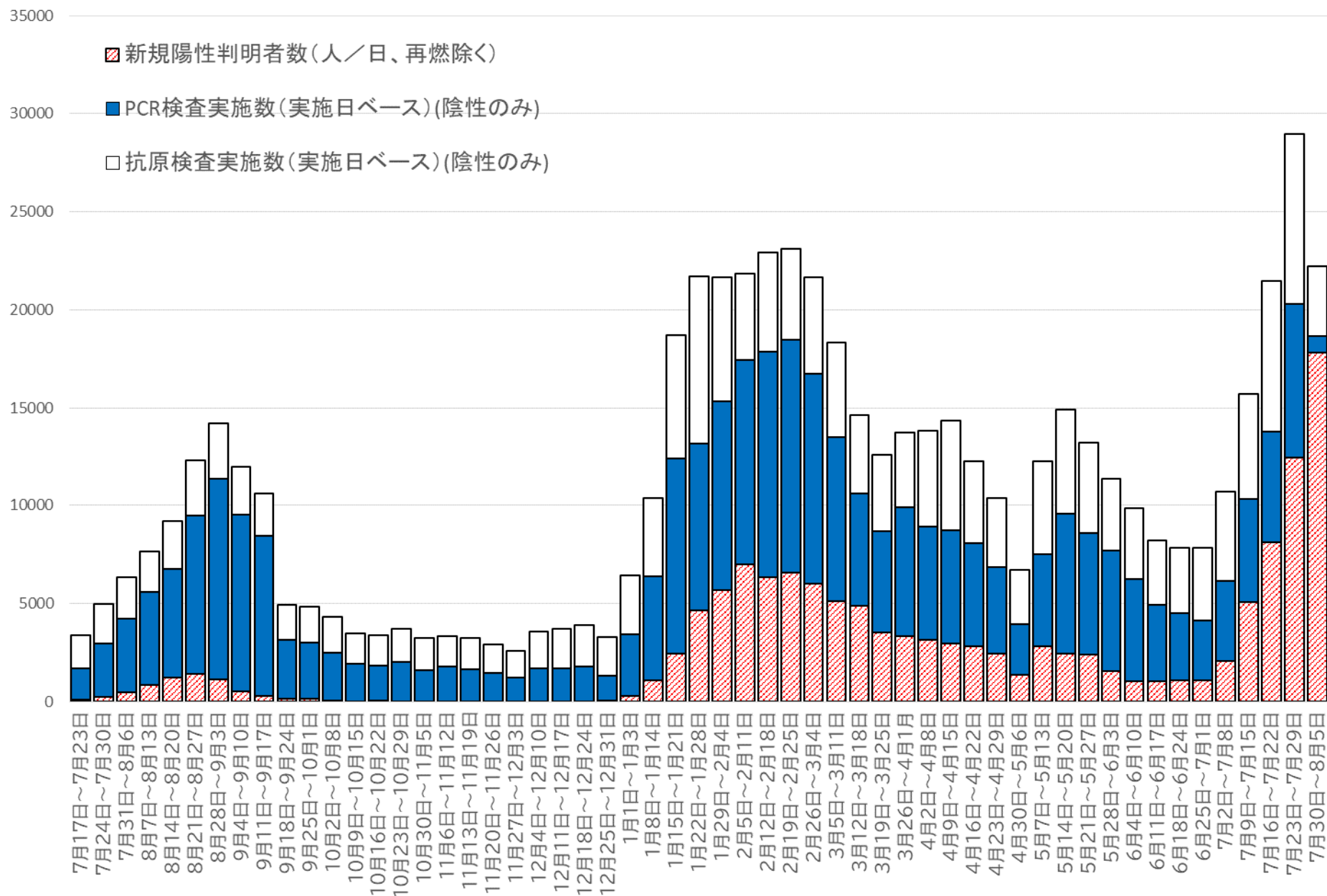
1人



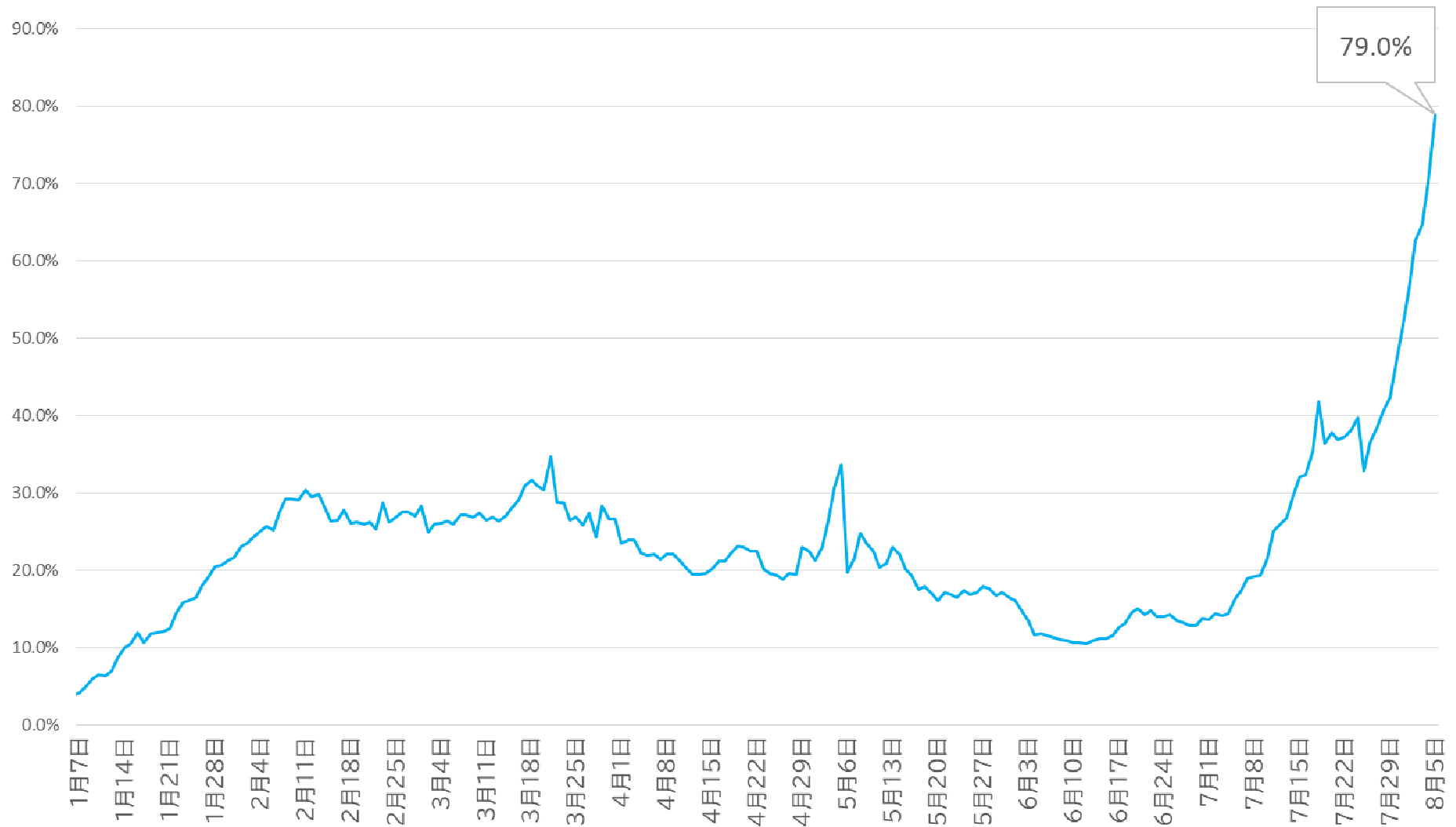
### 3)入院医療体制について



## 4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



## 5)陽性率(7日間移動平均)

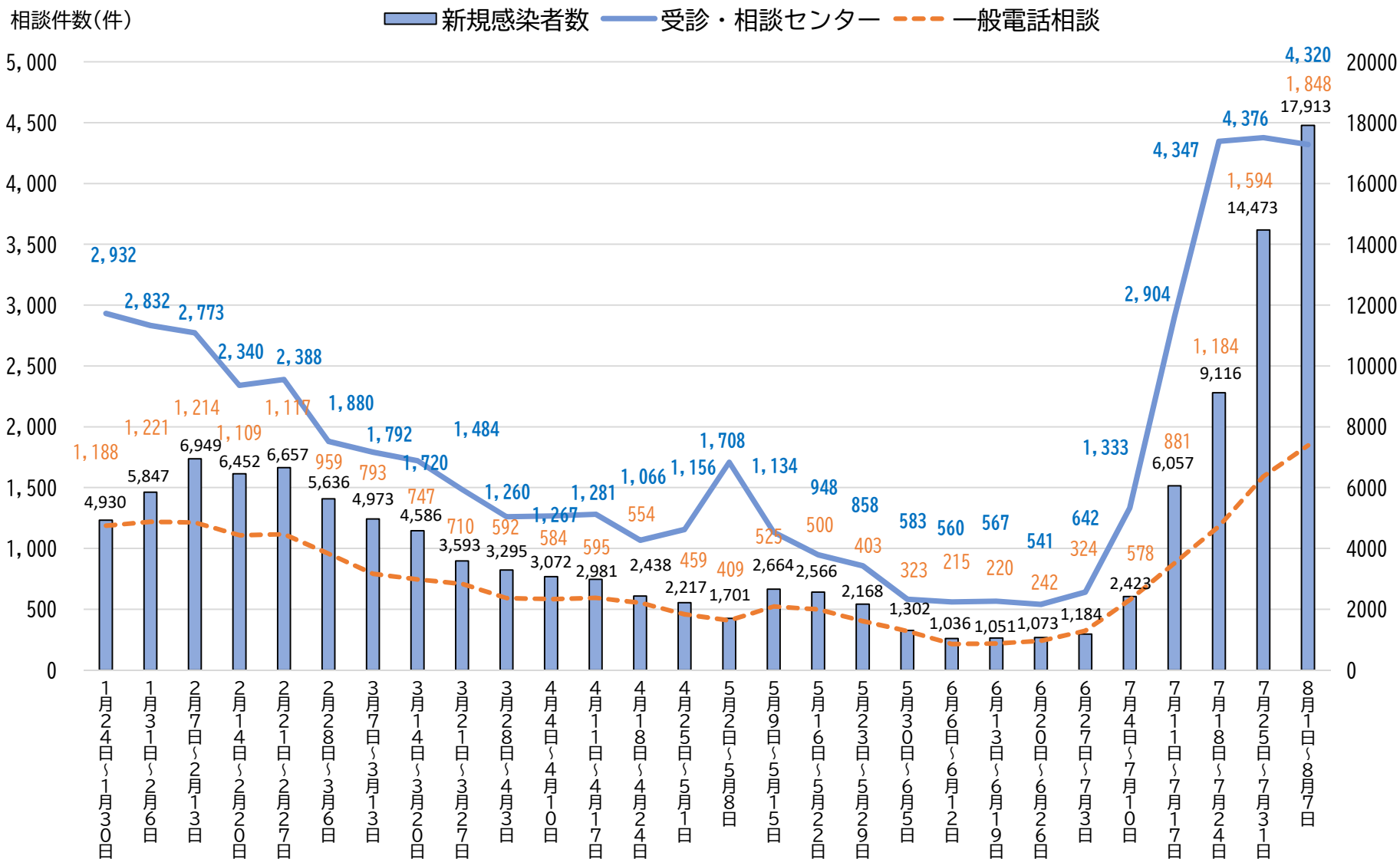


- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、8月5日現在の陽性率は79.0%でした。

# 6)相談体制について

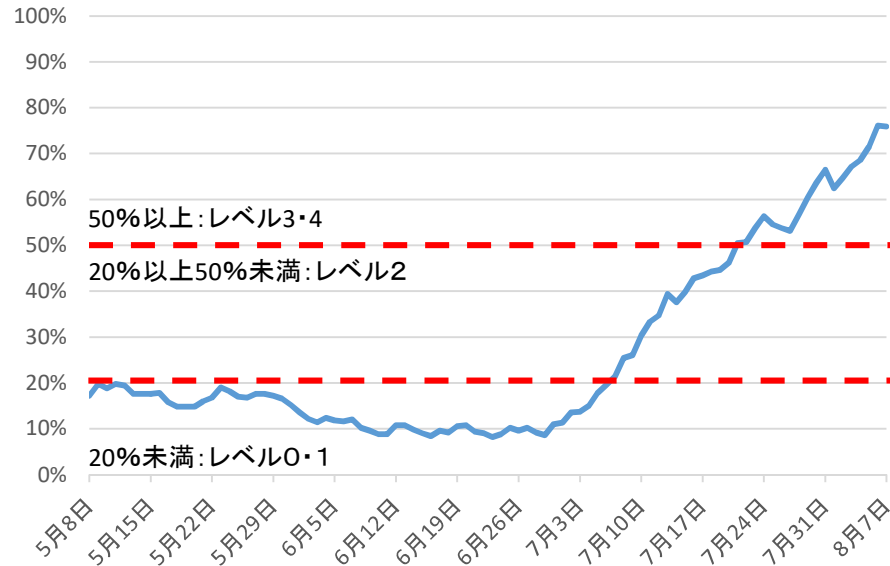
## 相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)

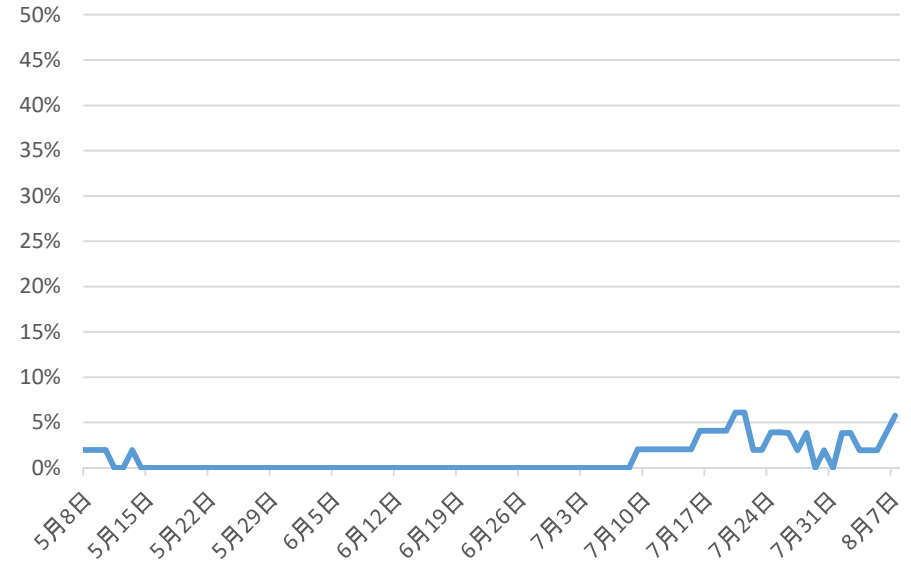


# 7)その他の県内の感染動向

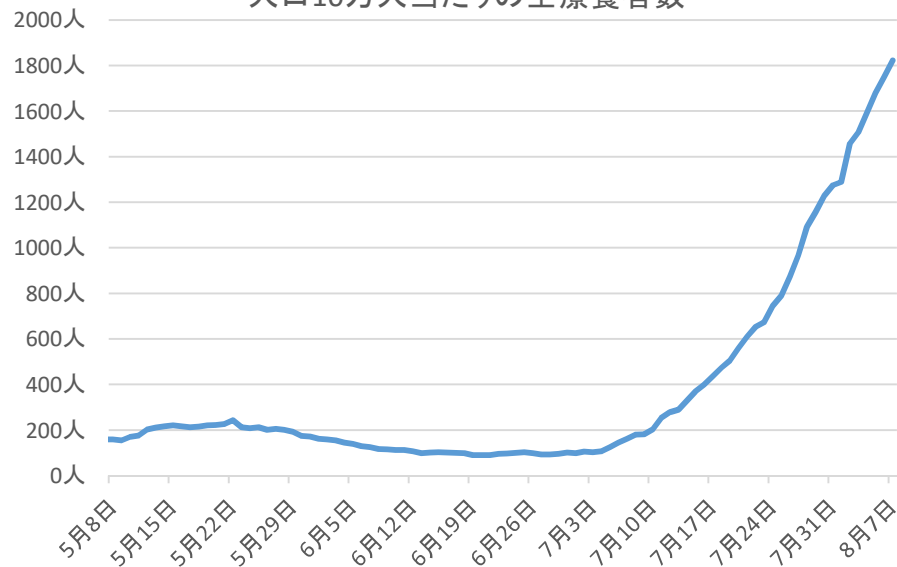
最大確保病床の占有率



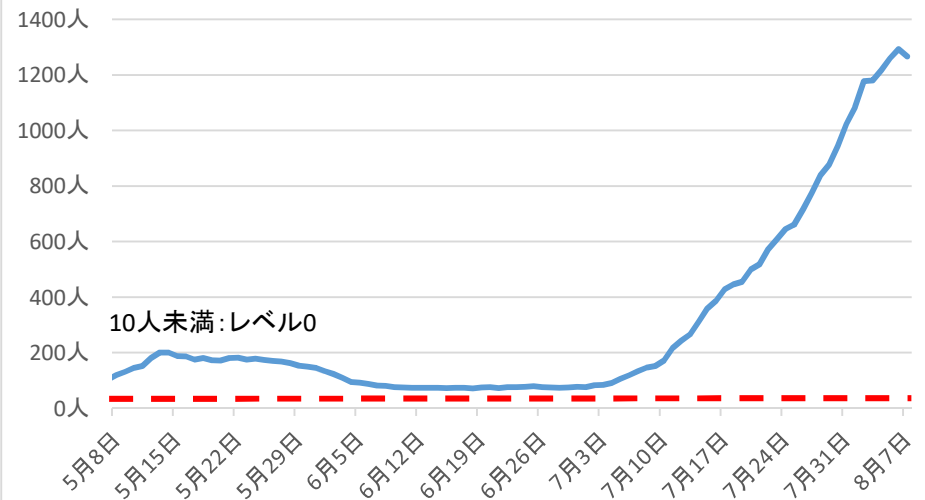
重症者用病床の最大確保病床の占有率



人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人  
当たりの新規報告数



## 評価(8/1~8/7の感染状況)

- 全国的に新規陽性者数の増加は続いており、過去最多を更新している都道府県が多数あります。実効再生産数は下降傾向にあり、増加幅は小さくなっています。
- 本県の新規陽性者数は8月2日に2997人で過去最多となりました。直近1週間における人口10万人当たりの新規報告数は1266.8人となり、今年2月の第6波のピーク時(504.24人)の2倍以上となっています。曜日別では、8月7日に37日ぶりに連続で前週の同じ曜日よりも少なくなりましたが、1週間で見ると今週先週比が1.24となっており増加傾向となっています。年代別では、いずれの年代も高い水準で推移しており、学校が夏休み期間にもかかわらず継続して10歳代以下の感染が多くなっています。
- 最大確保病床に対する占有率は8月7日時点で75.9%、自宅療養者等は2万5千人を超える状況となってきており、入院医療・外来医療への影響が見られます。新規陽性者数の増加とともに、中等症の患者数も増加し、重症患者も継続して見られます。高齢者で重症化リスクが高い傾向は、7月以降の感染拡大期でも見られており、高齢者層で感染拡大しないようにしていく必要があります。また、必要な方が適切に医療に繋がるよう対策の必要があります。
- 医療機関、高齢者施設等でクラスターが多発しており、施設内感染の予防を徹底する必要があります。また、陽性者が施設内で療養する場合であっても治療を提供できるように、嘱託医や協力医療機関と事前に調整しておくことが必要です。
- 気温が高く、冷房のため窓を閉め切っていることが想定されます。密閉空間では感染リスクが増加します。一般的なエアコンでは換気できないため、冷房中も常時換気が必要です。
- ワクチン接種についても、効果は徐々に減弱します。3回目・4回目の追加接種の対象者は計画的な接種が必要です。50歳未満の若い年代の一層のワクチン接種を進めることも重要です。
- 夏休み、お盆に向けて人の移動の活発化が予想されます。大切な人を守る行動を！